

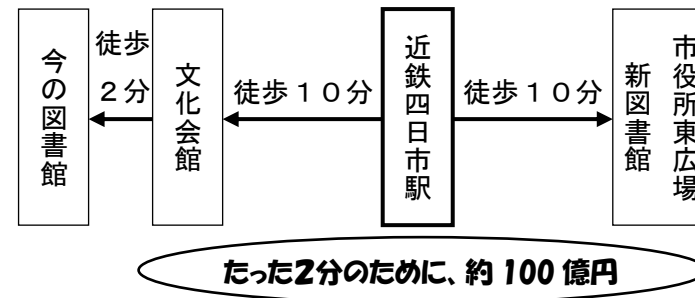
# 四日市市立図書館の移転反対

## 1. 移転しても便利にならない

今の図書館は、近鉄四日市駅から徒歩12分。

図書館移転先の市役所東広場は、近鉄四日市駅から徒歩10分。

たった2分しか縮まらないのに、約100億円もの税金を使うのは間違っています。



## 2. 移転で図書館が遠くなる人が多い

この図書館は中央図書館であり、四日市市全域をサービス対象とした図書館です。

四日市市民は沿岸部や内陸部の住宅団地などに住んでおり、全市民から近い場所に図書館が必要です。

図書館移転先の市役所東広場は、全市民にとって東に偏り過ぎており、移転によって図書館が遠くなり、不便になる人が増えます。

## 3. ビル型の図書館は、不便がいっぱい

新図書館は、8階建てビルの3階～8階になります。たびたび階の移動が必要となり、利用者にも職員にも大きな負担になります。

狭いビルに多くの本を収納するために導入される自動書庫は、人が中に入れず、機械故障時には一切、本が取り出せなくなります。

## 4. くすの木パーキングから歩かされる

平日の市営中央駐車場は満車が多く、くすの木パーキングから歩かされます。旧ジャスコ前の出口から10分近く歩くこともあります。

激しい雨の日は、駐車場から歩く途中で図書館から借りた本を濡らしてしまうことも増え、本を弁償させられることが増えます。

## 5. 今の図書館でも、中心市街地活性化はできる

図書館通りまでが中心市街地の範囲であり、図書館が現在地に存続することで、図書館通り周辺の中心市街地活性化に寄与できます。

# 現図書館の増築で、蔵書も面積も倍に

## 6. 図書館の教育課題は、移転しなくても、現在地で解決できる (森市長は、朝明中学校移転中止を決断)

今の図書館の教育課題は、駐車場、蔵書、閲覧席、書棚、バリアフリー等ですが、図書館を移転しなければ解決できないことはありません。今の図書館が建つ敷地は、あと1万㎡増築できます。隣地には久保田公園があり、図書館用の駐車場を造ることができます。滞在型図書館やICT対応等、新しい時代の図書館は、「今の図書館の増築」と「久保田公園での駐車場整備」により、実現できます。森市長は、朝明中学校と大矢知興譲小学校の教育課題は、中学校移転ではなく、両校の現在地での整備で解決できると、朝明中学校の移転中止を決断されました。

図書館の教育課題も、図書館移転ではなく現在地での整備で解決すべきです。(市役所：S47 建築、図書館：S48 建築。まだまだ使える。)

久保田公園に図書館用の立体駐車場を整備。屋上を立体公園として開放。地域と図書館の公園に。

南駐車場・車庫に、閉架書庫等を増築



現図書館敷地の状況 (久保田公園含まず)

敷地面積：4,738.01 ㎡  
 延床面積：4,147.42 ㎡  
 容積率 (近隣商業地域)：300%  
 建築可能床面積：14,214.03 ㎡  
 増築可能床面積：10,066.61 ㎡

庭園に、開架書棚と閲覧室を増築

エレベーター・エスカレーターも整備

3F	閉架書庫	会議室	光庭⇒カフェ	学習室	エレベーター・エスカレーター	開架書架・閲覧室	3F
中2F	閉架書庫	事務室	閉架書庫	地域資料室		開架書架・閲覧室	2F
2F	閉架書庫		閉架書庫			開架書架・閲覧室 (吹き抜け)	1F
1F	自動車文庫 フラットホーム 兼車庫	点字・録音室	閉架書庫	カウンター		開架書架・閲覧室	1F

増築

現在の図書館

増築